

サンランフクラ(うんだ卵を
まねかすこと)

國語科 (水産科)

沼津の富士川のはとりに、富士山が高く雲の間にそびえて、浮島が原が廣く横たはつてゐる、松の風は源平が相對して陣取つた昔を語るが如く水の聲は群れ鳥に驚いて、にげ去つた昔を答ふるに似てゐる、古き昔を思ふ心が汽車の輪と共にまはりまはつて、岩淵蒲原等の停車場はいつの間にか走り通つて、汽車は倉澤の西の方にある、薩埵山の隧道に入つた暗い隧道を出れば三保の松原が大海原と何れおとらさず青々として夕日がさしてゐる波の上に浮んで伊豆の天城が雲と高さを比べて、まさに没せんとする太陽にうつつて其美しい見ばえは、いはれん位である。

フヤツのギム(たすけやし
なふぎむ) チャクシツトトウキ(正直にまじめ
に機會に乗す)

ケンキウレンマ(研究して其道を
みがきよること) ミライエイゲフ(末長) キンジャウテツペキ(大へん丈
夫な城)

算術科 (航海水産科)

(1) 19000.049.

(2) 1976715尺

(3) $\frac{2}{3} \cdot 14.$

(4) $\frac{70}{81}$

(5) 甲1日の仕事は $\frac{1}{21}$ 乙1日の仕事は $\frac{1}{20}$ なり。

甲3日分の仕事は $\frac{1}{21} \times 3 = \frac{3}{21} = \frac{1}{4}$

甲3日なしたる残りは $1 - \frac{1}{4} = \frac{3}{4}$

故に $\frac{3}{4} \div \frac{1}{20} = \frac{3}{4} \times \frac{20}{1} = 15 \dots 15H。$

那覇區立商業學校入學試験問題解答

國語科

一、(イ)人民の安かに何事の變りもなくして國家のひとり立ちして行かれるようにするには一日も軍のそなへがなくてはならない。これ兵役の出來たわけで、その國の人民が自分から、まかするでなければ誰かこれに任かして兵役に服しよう。昔は兵役に服するものは武士ばかりの役目として居つたが今日はすべての人民が同じいせなければならぬ事となつたから、大てい此の國に男の子と生れたものは兵役に服せなければならぬ、義務があるのである。

(ロ)同じい國の人民のたしなみにもまだ時々うつり變りがある。故に商業をしようと思ふものは、かねぐ御得意のたしなみを考へ、今は如何なるものが流行するか、よくその邊のところを考へ知らなければならぬ。

二、ミキヅ。ハセガハ。ミツボ。バビツ。インサツブツ。キビン。フブキ。アイサツ。タンチヨ。カクラク。ウバグルマ。スツシノヒヨウ。デカセギニン。ケイカク。カクチヨウ。

三、恢復。貨幣。携帶。退屈。御機嫌。珊瑚礁。消防。畢生。基礎。明治聖代。

算術科

$$(1) 132.57 \times 0.005 + 0.9 \times \left(\frac{4}{5} - \frac{3}{15} \right)$$

$$(2) 7.2 \text{圓} - 1.2 \text{圓} = 6 \text{圓}$$

$$6 \text{圓} + 2 \text{圓} = 8 \text{圓} \dots\dots \text{乙。}$$

$$8 \text{圓} + 1.2 \text{圓} = 4.2 \text{圓} \dots\dots \text{甲。}$$

$$(3) 6 \text{斤} \times \frac{1}{3} = 2 \text{斤。}$$

$$6 \text{斤} - 2 \text{斤} = 4 \text{斤}$$

$$4 \text{斤} \times \frac{1}{4} = 1 \text{斤}$$

$$4 \text{斤} - 1 \text{斤} = 3 \text{斤}$$

$$(4) 8 \times 3 + 6 = 30 \dots\dots \text{大。}$$

(5) $26 \frac{7}{4} = 35 \frac{7}{4}$

地理科

- 一、敦賀(福井縣) 下ノ關(山口縣) 佐世保(佐賀縣) 四日市(三重縣) 大津市(滋賀縣) 久留米市(福岡縣)
- 二、横濱市ヨリハ次ノ如シ。
茶。羽二重。陶磁器。銅。麥稈真田。花筵。生糸等。
神戸ヨリハ次ノ如シ。
生糸。綿織絲。羽二重。綿巾。石炭。銅。木材。マツチ等。
- 三、清國(北京) 英國(ロンドン) 北米合衆國(紐育) 佛國(パリ) 獨逸(ベルリン) 露國(聖彼得堡)

歴史科

- 一、應神天皇の朝、百濟の使者阿直岐來朝す、能く經典に通せしかば天皇其皇子菟道の稚耶子をして就て學ばしむ其翌年彼の國の博士王仁來朝し論語十卷千字本一卷を献す皇子又之に師事して學問大に進む我國の文學之れより起る。
- 二、武士ノ起原略ス。
- 三、後三條天皇は才學すぐれて、いと賢明なる御方にましまして御即位の後まづ記録所を設けて親しく莊園に關する訴訟をとり給ひ、また寛徳二年以後新に置かれたる莊園を禁じ、その前のものにてても證券の明らかならざるものは皆とりあげ、また官を賣ること國司の重任することを禁じ御みづから節儉を行ひて世の奢りを戒ましめ給へり、されば朝廷の御威光も再びふるひ世の風紀も大にあらたまりたり。

理科

- 一、阿旦は熱帯地方に産する植物にして丈け低く葉廣く長くして非常に樹頭にて繁茂す用途は之を乾かし割きて帽子等を製す其漂白したるものはバナマと少しも異ならず。
- 二、食肉獸は爪牙銳利にして且つ感覺鋭く行動敏捷なり性兇暴にして通常猛獸と稱するも

の之れに屬す。

三、石灰石は其の白く緻密なるものは洋紅にて染めて模造珊瑚を製し髪飾品などに細工す
また石灰石に酸類を注げば炭酸瓦斯を生ずるを以てラムネ製造に供し或はイシバト、セ
メント等を製スルニ用ヒラル。

鹿兒島縣立鹿屋農學校入學試驗問題解答

國語科 (講讀)

- 一、偏頗(平) (不公) 大審院(日本に於ける) 春日和(春のうらら) 不束(ラマ) 符牒(シル)
- 二、(イ)物の價といふものは、需要と(イリ)と供給(ルタカ)との多いと少いによつて定ま
る。
- (ロ)地殻の隆起(高クナ)陥没(ハコ)することを來しました。
- 三、泣き號ぶ。物干臺。土産。丁寧。

算術科

(1) $360 \div 0.075 = 4800$

$$\begin{array}{r} 4800 \\ 0.075 \overline{)360000} \\ \underline{300} \\ 600 \\ \underline{600} \\ 0 \end{array}$$

(2)

	1里	3町	7間	5尺 135
x	135里 11	405町 +17	945間 +112	6)675尺(112間 6
	146里	36)422(11里 36	60)1057(17町 60	7 6
		62 36	457 420	15 12
		26町	37間	3尺

答 百四十六里二十六町三十七間三尺

(3) 72882人 - 72000人 = 882人 …… 増加人員。

882 ÷ 72882 = $\frac{1}{82}$ 厘。

$$\begin{array}{r} 0.012 \\ 72882 \overline{) 88200} \\ \underline{72882} \\ 153180 \\ \underline{145764} \\ 7416 \end{array}$$

(4) $(2\frac{7}{12} - 1\frac{5}{6} + 6) - (4\frac{4}{5} - \frac{14}{15}) = 6\frac{9}{12} - 3\frac{18}{15}$
 $= 6\frac{45}{60} - 3\frac{52}{60} = 2\frac{105}{60} - \frac{52}{60} = 2\frac{53}{60}$

(5) $165 \times \frac{500}{1100} = 75$ …… 甲。
 $165 \times \frac{300}{1100} = 45$ …… 乙。

$165 \times \frac{250}{1100} = 37.5$ …… 丙。
 $165 \times \frac{50}{1100} = 7.5$ …… 丁。

理科

- 一、豆類の植物と異なるは、根に根瘤あり而して、その根瘤にはバクテリアを有し、空气中の窒素を吸ひ取る作用をなす。又花は蝶形をなす。
- 二、呼吸を管む機關は、口、鼻、氣管、肺臟等にして口、鼻より入りたる空氣は氣管を通

りて、左右の肺臓に入る。肺の中にて空氣は、血液に酸素を與へ、血液より炭酸瓦斯を取る。而して、この酸素少く、炭酸瓦斯多き空氣は、又口、鼻より外に出づ。斯くの如き作用を呼吸作用といふ。

三、石炭の性質。石炭は黒色又は褐色にして、其の質脆し。錘にて、之を打てば、容易く碎けて片々となる。重に炭素よりなれる礦物にして、之れに火を附くれば、煙を出し、煙を擧げて燃ゆ、色黒く光澤強きものは、良質のものにして、炭素を多く含み火力強し。石炭の出來方、太古に繁茂したる植物の水底に推積して、土砂に覆はれ其の中に含める酸素、水素などを次第に失ひ、炭素の大部分を残して固まりたるものなり。

用途、燃料に供せられ、又これよりコークス、石炭ガス、コールタール、染料、藥品等を製し、其の用途甚廣し。

四、燃燒とは炭素と空氣中の酸素と化合して熱と光とを發する作用にして、燃燒によりて生ずる物質には水と炭酸瓦斯とあり。

五、磁石の性質を問ふ。

磁石は鐵を引く性あるものにして、この性は磁石の兩極に於て著し。この兩端を磁石の

極といふ。

而して、自由に動き得る磁石にては、其の一極は北を指し、他の一極は南を指す。磁石の同種の極は相斥け、異種の極は相引く。

鹿兒島縣立大嶋農學校入學試驗問題解答

算術科

(1) 0.708373

(2) $16\frac{11}{14}$

(3) $220\text{圓} - (50\text{圓} + 50\text{圓} + 30\text{圓}) = 90\text{圓}$

$90\text{圓} + 3 = 30\text{圓} \dots\dots \text{乙。}$

$30\text{圓} + 50\text{圓} = 80\text{圓} \dots\dots \text{甲。}$

$80\text{圓} + 30\text{圓} = 110\text{圓} \dots\dots \text{丙。}$

(4) $5\text{錢} \times 220 = 1100$

$12\text{圓}9\text{錢} - 11\text{圓} = 1\text{圓}9\text{錢}$

$1\text{圓}9\text{錢} + (6\text{錢} + 5\text{錢}) = 109 \dots\dots 6\text{錢の桃}$

$220 - 109 = 111 \dots\dots 5\text{錢の桃}$

(5) $57 + 20 = 77$

$77 + \left(1 + \frac{1}{6}\right) - 10 = 56 \dots\dots \text{甲}$

$57 - 56 = 1 \dots\dots \text{乙}$

國語科

一、ミキヅ。フツツカモノ。アングン。オモカゲ。ウンカ。ナット。ムジエン。ソバ。ヒタスラ。タソガレ。

二、ツキルコトノナイ富。アサルコト。陶器ノウワグスリヲ塗ラズニ焼イタモノ。水ヲソ、ゲ。タスケタテマツル。大ニ勉強シタテガラ。不公平。ユタカ。

足モトカクライ。

三、彫刻。警察署。瑞穂の國。貨幣。栽培。

四、版圖。秩序。組板。怠惰。模範。

作文科

一、今春貴兄より頂き申し候種子は早やかくの如く見事に野菜と相成り申し候何卒私の培養の成行御覽たまはり度自慢らしくは候へとも味も萬更悪くは無之からんと存じ候間御風味下され度候

鹿兒島縣立第一高等女學校入學試驗問題解答

算術科

(1) $(3798.432 + 87.2) \div \left(\frac{11}{34} - \frac{3}{2}\right)$

$$(3798.432 \div 87.2) = 3798 \frac{432}{1000} \div 87 \frac{2}{10} = 43.56$$

$$\left(\frac{11}{34} - \frac{3}{2} \right) = 7 \frac{26}{43}$$

$$\begin{array}{r} 1089 \\ 2178 \\ 4356 \\ \hline 43 \frac{56}{100} \div 7 \frac{26}{43} = \frac{4356}{100} \times \frac{327}{8175} = \frac{46727}{8175} \\ \times 25 \\ \hline 16935 \\ 654 \\ \hline 8175 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 46727 = 5 \frac{5852}{8175} \\ \hline 8175 \quad 8175 \quad 46727 \quad 5 \\ \hline 8175 \quad 40875 \\ \hline 5852 \end{array}$$

(2) 237.1哩 + 351.1哩 + 354.9哩 = 943.1哩
 14町45間 × 943.1 = 834644間

834644間 ÷ 60間 = 13910町44間。

13910町 ÷ 36町 = 386里14町。

答 三百八十六里十四町四十四間。

(3) 58人 - 50人 = 8人 58人の時50人の時との差。

44人 + 20人 = 64人 8人づつ幾度か重つた爲。

64人 ÷ 8人 = 8 船數。

(50人 × 8人) + 20人 = 420人 人數。

(4) 或る仕事の量を1と假定す

1 ÷ 8 = $\frac{1}{8}$ 甲一日の仕事の分量。

1 ÷ 7 = $\frac{1}{7}$ 乙.....

1 ÷ 9 = $\frac{1}{9}$ 丙.....

$$\frac{1}{8} + \frac{1}{7} + \frac{1}{9} = \frac{63}{504} + \frac{72}{504} + \frac{56}{504} = \frac{191}{504} \dots\dots \text{甲乙丙三人一日の分量}$$

$$\frac{72}{504}$$

$$1 + \frac{191}{504} = 1 \times \frac{504}{191} = 2 \frac{121}{191} \text{ 日即3日間。}$$

$$\frac{191}{191} \frac{504}{191} \frac{2}{191}$$

$$(5) \quad 4480 \text{圓} + \left\{ 1 + \left(0.09 \times 1 \frac{1}{3} \right) \right\} = 4000 \text{圓。}$$

$$0.09 \times 1 \frac{1}{3} = \frac{0.36}{3} = 0.12 \dots\dots \text{年四ヶ月間の利率。}$$

$$\frac{1.12}{448} \frac{448000}{448} \frac{4000}{448}$$

國語科

一、人世には思はぬ、不仕合や、驚くやうなことがらが、起つて来ないともいへませぬ。だから事のない時、かねぐに處する道を、かくごして、置かなかつたものならば、その時になりてから、心が亂れ、氣がまとひまして、見苦しい行をすることがあります。うはべに、温順、愛敬の徳を守りて、内は、しつかりした心を持ち、どんな事柄にあつても、ちやんとして、其のかねての有様を失はぬのは、日本の女子の美しい徳であります。

二、(イ)壯觀名状すべからず。(サカンナ、ナガメハイフコトハ出来ナイ)

(ロ)新陳代謝。(古イモノハ、スタツテ新シイモノガ、コレニ代ルコト)

(ハ)少壯有爲の人。(年ハ若イケレドモ、仕事ヲヨクスル人)

(ニ)優柔不斷。(何ヲシテキルカ分ラズ、グヅ／＼シテ居ルコト)

(ホ)販路。(品物ノ賣レ先) 不正確。(物ゾトガ、キチント合ハヌコト)

(三)輕侮の念を有す。(人ヲアナル考ヲ持ツテ居ル)

- 三、(イ)軍艦を捕獲し、或は撃沈す。
- (ロ)警護の武士。
- (ハ)耕地整理。
- (ニ)機関の一部に故障あり。
- (ホ)拳々服膺すべし。
- (ト)初より事の順逆理否を熟考すべし。
- (ヘ)戦後の経営怠なし。

作文

(口語體)

櫻。

兒鹿島縣立第二高等女學校入學試驗問題解答

講讀

一、身體の健全な人は精神も又、ゆくわいで、しかも元氣で、耳や、目に聞えたり、見えたりするものは、みんな楽しんでございます。心が楽しいと、しせんに笑ひます。でありますから、笑はなくてはなりません。かねく笑はなくてはなりません。笑はうと思ひますならば。衛生に氣をつけて、身體を、すこやかにせなくてはなりません。うまれつき

快活な人も、身體を、そこなひますと、心の元氣も又衰へまして、笑ふことが少うございます。

二、蜜蜂が群集生活をなすことの出来るのは、みんなが、いつしよになり、力を合せて、労働をいとはないで、力ある敵と戦ふ道具をそなへて、敵のものにあたり、なかまの爲には、いのちを、おしまぬからである。

三、波風のしづかな日も、船乗り人は、取つて居るかちに、心を許して呉れるな。治つた世に居つて、亂を忘れぬといふのも此の心であります。學問を修るにも、仕事に従ふにも、いつも、こんな心があつてこそ、其の目的は達することが出来るものである。

四、コカバウ興亡(オコツタリ、ホロ)直徑(チヨウケイ)嗜好(サシヨ)事蹟(コノコト)高嶺(タカイ)

算術科

(1) $2.408 \times 28 - 1.28 \div 4 \times 5 = 65.824$

$$\begin{array}{r} 2,408 \\ 28 \\ \hline 19264 \\ 4816 \\ \hline 67,424 \end{array}$$

$$1.28 \div 4 = 0.32$$

$$0.32 \times 5 = 1.60$$

$$\begin{array}{r} 67,424 \\ -1.6 \\ \hline 65,824 \end{array}$$

$$(2) \left(\frac{7}{9} + 2\frac{2}{3}\right) \times \frac{3}{4} \div \frac{5}{8} =$$

$$\left(\frac{7}{9} + 2\frac{2}{3}\right) = 3\frac{4}{9}$$

$$3\frac{4}{9} \times \frac{3}{4} \div \frac{5}{8} = \frac{31}{9} \times \frac{3}{4} \times \frac{8}{5} = 4\frac{2}{15}$$

$$(3) 2\text{斤} = 320\text{匁。}$$

$$\begin{array}{r} 109 \\ 3.2 \overline{) 350} \\ \underline{32} \\ 300 \\ \underline{288} \\ 12 \end{array}$$

$$35\text{匁} \div 3.2 = 10\text{匁}9\text{厘強。}$$

$$(4) 41 - 7 = 38 \dots \text{小數の二倍}$$

$$34 \div 2 = 17 \dots \text{小數。}$$

$$17 + 7 = 24 \dots \text{大數。}$$

$$(5) 20\text{錢} \times 7 = 1.4\text{圓} \dots \text{男四人の賃錢}$$

$$1.4\text{圓} \div 4 = 35\text{錢} \dots \text{男一人の賃錢}$$

$$(6) 1\text{打} = 12$$

$$15\text{錢} \times 12 = 1.8\text{圓} \dots \text{小賣一ダースの賣價}$$

$$1.8\text{圓} - 1.58\text{圓} = 22\text{錢。}$$

$$(7) (8\text{時}45\text{分} + 9\text{時}25\text{分} + 7\text{時}50\text{分}) \div 3 = 8\text{時}40\text{分。}$$

$$8\text{時}45\text{分} + 9\text{時}25\text{分} + 7\text{時}50\text{分} = 26\text{時間}$$

$$26\text{時} \div 3 = 8\text{時}40\text{分}$$

$$(8) 1\text{町} = 60\text{間} = 360\text{尺。}$$

$$\begin{array}{r} 360 \\ \times 360 \\ \hline 000 \\ 2160 \\ \hline 1080 \end{array}$$

$$129600$$

$$\dots \text{其の地面の坪數。}$$

129600歩 ÷ 30歩 = 4320畝 = 43町2段歩。

(9) 市三尺ノ物ノ長サ六尺ノ代ハ

56錢 × 6 = 336錢 …… 墨一墨敷代金

3.36圓 × 12 = 40.32圓。

$$\begin{array}{r} 3.36 \\ \times 12 \\ \hline 672 \\ 336 \\ \hline 40.32 \end{array}$$

(10) $4.5圓 ÷ \frac{9}{50} = 5圓 \times \frac{50}{9} = 25圓$ 。

(11) $1800圓 \times \frac{1}{3} = 600圓$ …… 第一回 = 仕拂ヒシガケ

$1800圓 \times \frac{1}{4} = 450圓$ …… 第二回

$1800圓 - (600圓 + 450圓) = 750圓$ 。

(12) 420人 - 240人 = 180人 …… 女生徒。

$$180人 \div 420人 = \frac{180}{420} = \frac{3}{7}$$

(13) $\frac{1}{4}$ …… 大人が1日になすだけ

$\frac{1}{12}$ …… 子供が ……

$\frac{1}{4} + \frac{1}{12} = \frac{4}{12} = \frac{1}{3}$ …… 大人子供二人にて一日になす仕事

$1 \div \frac{1}{3} = 3日$ 。

(14) $1.5圓 \div (1 - 0.15) = 1.8圓$

(15) $(287.5圓 - 250圓) \div 250圓 = 0.15$.

$37.5圓 \div 250圓 = 0.15$.

(16) $1錢8厘 \times 7.5 \times 90 = 12.15圓$ 。

$$\begin{array}{r} 7.5 \\ \times 90 \\ \hline 00 \\ 675 \\ \hline 675.0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 18\text{厘} \\ \times 675 \\ \hline 90 \\ 120 \\ 108 \\ \hline 12\text{圓}15\text{錢}0\text{厘}。 \end{array}$$

(17) $1500\text{圓} \times 0.012 = 18\text{圓}。$

$$\begin{array}{r} 1500 \\ 0.012 \\ \hline 3000 \\ 1500 \\ \hline 18.000。 \end{array}$$

鹿兒島市立女子興業學校入學試驗問題解答

算 術 科

(1) $\left(\frac{1}{6} + \frac{2}{5}\right) \times \frac{15}{17} = \frac{1}{2} = \frac{1}{30} \times \frac{15}{17} = \frac{1}{2} = \frac{1}{2} = \frac{1}{2} \times \frac{2}{1}$
 $= \frac{1}{2} \quad \text{答 } \frac{1}{2}$

(2) $24\text{時} \times 7 = 168\text{時} \dots\dots$ 一週間分ノ時間
 $28 \times 60 = 1680 \dots\dots$ 28分ヲ秒ニ直シタルモ
 $1680\text{秒} = 168 = 10\text{秒} \dots\dots$ 答。

(3) $222\text{名} \div 600\text{名} = 0.37 \dots\dots$ 答。

(4) $15\text{錢} \times 12 = 180\text{錢} \dots\dots$ 絹一丈二尺代。
 $180\text{錢} \div 25 = 7.2\text{錢} \dots\dots$ 木綿一尺代。

答 七錢二厘。

(5) $21\text{厘} \times 500 = 10500\text{厘} \dots\dots$ 500個代。
 $500\text{個} - (12\text{個} + 33\text{個}) = 450\text{個} \dots\dots$ 残りシ卵。
 $10500\text{厘} \div 450 = 23\text{厘} \dots\dots$ 餘リ150厘。

依テ 150個ハ24冊ヅ、 } 一個ノ價ヲ賣シバヨシ
300個ハ28冊ヅ、 }

國語科 (講讀)

- 一、協同一致して團體の福利を増進せんことを心掛くべし。
(苦心を合せて一つ様になつて、全體の幸福や利益を、ますます進むことに心掛けねばならぬ)
- 二、皇國の興廢此の一戦にあり各員一層奮勵努力せよ。
(わが日本國の興ると廢るとは、たゞこの一いふきにある、皆々今よりも更に力のある限り働いて努めよ)
- 三、快活なる精神を以て熱心に其事業に従事せば天下何事か成らざるを憂へん。
(愉快な元氣な精神を以て一生懸命に其事業に従ふたなら、世の中の事は、どんな事でも出來ぬと心配する必要はないきつと成される)
- 四、老後の安樂を願ふ者は若年の辛苦をいとふべからず。
(年寄つてから後の、安らかに樂む事を願ふ者、若い時の難儀苦勞をいとふてはならぬ)
- 五、蝶の花にとびかひたるやさしきもの限りなし。
(蝶が花から花へととびまはつてゐる、其姿のやさしい事は何に、たとへやうがない位で、たいへんかはいらしい)

六、(イ)禮儀作法を正しくすべし。

- (ロ)義勇奉公。
- (ハ)國運發展。
- (ニ)郵便貯金。
- (ホ)留守番。

作文科

- 一、本日は天氣好き故野外に散歩せん。
- 二、第三皇孫殿下には始めて學齡に達せられ日々學習院へ御通學遊ばされ第一學年の課程を受けさせられつゝあり。
- 三、入學試験に及第せしを祝ふ文。(端書文)
あなた様には此度第一高等女學校の入學試験に合格なさいましたとの事、聞いて私は飛び立つ思がしました。
平素の御勉強が一通りでないと思つてゐましたが、其結果は見事に現はれまして、

言はれぬ、うれしさが致します。
私も此度興業學校を受けましたが、まだ成績は發表されませぬ御も駄目です。と思
つておりますよ。左様なら。

四月六日

花子さまへ

花子の母

鹿児島私立鶴嶺女學校入學試験問題解答

技藝科一年

本科一年

算術科

(1) 12時 - 9時27分 = 2時33分。

(2) 130里33町57間4尺 + 92里20町17間4尺 =

$$\begin{array}{r}
 + 92 \quad 20 \quad 17 \quad 4 \\
 222 \quad 53 \quad 74 \quad 6)81 \\
 + 1 \quad 1 \quad 1 \quad 6 \\
 \hline
 223 \quad 36)54(1 \quad 60)75(1 \quad 2(尺) \\
 \quad \quad 36 \quad 60 \\
 \quad \quad \hline
 \quad \quad 18(町) \quad 15(間)
 \end{array}$$

答 223里18町15間2尺。

(3) 10枚 + 8枚 × 2 + 6枚 × 3枚44枚 …… 壺ノ總數。

45錢 + 12錢 + 12.5錢 = 69.5錢 …… 一枚ノ總費用。

69.5錢 × 44 = 3058錢。

答 參拾圓五拾八錢。

(4) 48枚 - 3枚 = 45枚 …… 燒増分

35錢 × 45 = 1575錢 …… 燒増ノ總價格

10圓 + 1575錢 = 25圓75錢

25圓75錢 ÷ 48 = 74.4錢 …… 餘 3.8錢

74.4	
48) 3575 錢	故 = 三十八人ハ 74.5 錢ヅ
386	
215	七人ハ 74.4 錢ヅ
192	
280	
192	
38	

} 出金ス。

國語科

一、外に向つては、おとなしく、人を愛し敬ふの徳を守つて、己れの心には、しつかりした、志を持ち、どんな事に、出會つても、少しも、さわがす、動かないで、かねてからの心を失はないのが、日本女子のよき美しい徳である。

二、ホシシヤウシヨ 戊申詔書(天皇陛下の下臣民に下し賜ひし御詔、特に勅)
瑞穂の國 瑞穂の國(吾が日本は古來處を本とし、) 至誠奉公(まじめにほんとうの) 不具者(かたは)
占領 占領(奪ひ占め) 不整頓(よくかたづけでない) 即ち不仕末

市區井然(町通りが、きちんと) 測候所(天氣其他のこと)
 三、検査。混雜。覺悟。摺附木。夜具。疊。箸。鉢。

作文科

女子の本分。

技藝科 一部

算術科

- (1) $45 \text{ 錢} \div 5 = 9 \text{ 錢}$ …… 梨一個代。
- $9 \text{ 錢} \times 4 = 36 \text{ 錢}$ …… 梨四個代にして林檎三個代に等し故に
- $36 \text{ 錢} \div 3 = 12 \text{ 錢}$ …… 答。
- (2) $55 \text{ 錢} \times 20 = 1100 \text{ 錢}$ …… 20日間の日給。
- $1250 \text{ 錢} - 1100 \text{ 錢} = 150 \text{ 錢}$ …… 夜業分。

150銭÷15銭=10 …… 答 10日。

120(和)

20(差)



120-20=100 …… 小の二つ分(圖を見よ)

故に100÷2=50 …… 小

50+20=70 …… 大

(4) 甲乙にては一日に $\frac{1}{6}$

甲は一日に $\frac{1}{12}$

故に $\frac{1}{6} - \frac{1}{12} = \frac{1}{12}$ …… 乙一日になす仕事

$1 + \frac{1}{12} = 12$ …… 答 12日 乙 8 12日を要す。

(5) $1 - \frac{5}{12} = \frac{7}{12}$

$$\frac{1}{\frac{7}{12}} \times \frac{2}{7} = \frac{1}{6}$$

$$\frac{7}{12} \div \frac{1}{6} = \frac{7}{12}$$

$$1250\text{銭} \div \frac{5}{12} = 250 \times \frac{12}{5} = 3000\text{銭} \quad \text{答。}$$

國語科

一 (イ) 天下の事をすらかに事なるを保つて行かうと、するならば、學問がみんなに、行
さむたるをうに圖らねばならぬ。

268
485

Handwritten text in a cursive script, arranged in several vertical columns. The text is extremely faint and difficult to decipher, but appears to be organized into a structured list or table. Some words are partially legible, such as "1848" and "1849".

